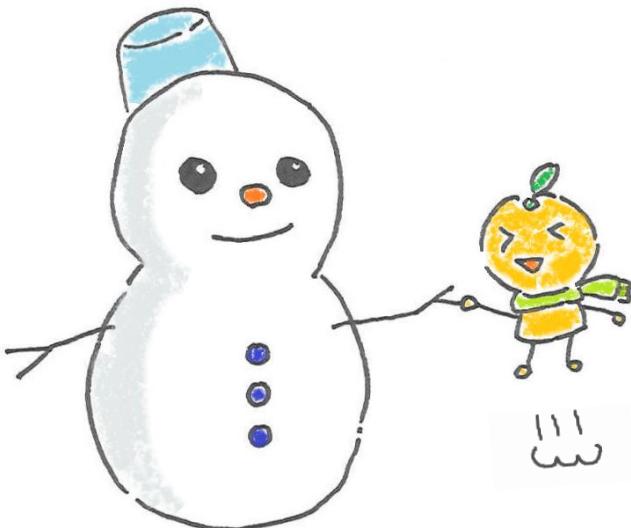


YA…Young Adult【ヤングアダルト】の略で、  
12才～19才くらいの人たちをさす言葉

# YAだより

Vol.34  
令和8（2026）年1月発行  
船橋市東図書館



## 特集 「過去と現在、あなたとわたし」

★今号は、東図書館だけでなく市内の他の図書館・公民館図書室等に所蔵のあるYA本の中からピックアップして紹介しています（東図書館は工事中により閲覧スペースへの立入りができないため）。

# 特集

## 「過去と現在、あなたとわたし」

ここで紹介した本は  
市内の図書館・公民館図書  
室等に所蔵が  
あります



『窓ぎわのトットちゃん

新組版』

黒柳徹子/著

講談社

914.6/70



『杉森くんを殺すには』

長谷川まりる/作

おさつ/装画・挿絵

くもん出版

F/ハセ



小学1年生にして退学させられてしまったトットちゃん (=黒柳徹子さん) を新しく迎え入れてくれたのは、ユニークな学校「トモエ学園」



話をたくさん聞いてくれる先生がいて、好きな科目から勉強できて、それが終わるとみんなで散歩をして、トットちゃんはこの学校が大好きになります。でも、そんな生活の中にも戦争の空気が近づいて…。

世界中で読まれている名エッセイ！それぞれのお話が短くセリフも多いので、読書初心者さんにもおすすめです。

タイトル通り「杉森くんを殺すことになった」高校1年生のヒロは、それを実行する前に、やり残したことをやろうと決めますか…。

友情についての物語が好きなあなたにぜひ！出会ってほしい小説です。刺激的なタイトルですが、安心してください…ヒロに接するキャラクターたちがみんな優しく、温かいお話です。

読み終わった後に表紙を眺めると、色々なセリフやエピソードがよみがえってきてジーンとします。YA担当は良子さんが大好きです 😊

# 特集

## 「過去と現在、あなたとわたし」

ここで紹介した本は  
市内の図書館・公民館図書  
室等に所蔵が  
あります



『学校に行かなかった僕が、あの  
ころの自分に今なら言えること』

石井しこう/著

大和書房

371.4/1



『群れから逸れて生きるための自  
学自習法』

向坂くじら, 柳原浩紀/著

明石書店

375/サ



中学2年生で学校に行けなくなってしまった

また石井さんは、同じく不登校をし

たことのある色んな人に取材してきま

した。そしておじさんになった今、あ

なたの悩みに寄り添う本ができました。

「ひきこもり飯」「先輩はどうして

た?」などのコラムや4コママンガも楽

しい一冊です。中面が赤と青の2色刷り

でかわいい!

「勉強って結局、誰のための何なの

? 🤔」「そもそも学校という場所そのものに納得いかない 😐」そんな人は、

この本を通じて向坂さん、柳原さんと話してみてください。「わかる」「そうだったのか」「あの時こう言ってもらえてたら…」の連続です(笑)。

淡々とした文体なのになんだか笑えて、自分の一つひとつを肯定してもらえた気持ちになる本です。

# 特集

## 「過去と現在、あなたとわたし」

ここで紹介した本は  
市内の図書館・公民館図書  
室等に所蔵が  
あります



『図解でわかる14歳から考えるこ  
れからの働き方』  
社会応援ネットワーク/著  
太田出版  
366/入



『13歳からの世界遺産  
偉人のエピソードで見え方が  
変わる！』  
宮澤光/著・イラスト  
世界遺産アカデミー,  
世界遺産検定事務局/監修  
マイナビ出版  
709/ミ



「バイトを辞めたい…でもなかなか切  
り出せない」「自分に向いている仕事、  
入りたい会社がわからない」「給与明  
細って何が書いてあるの？」などなど、  
働き方とその周りのあれこれについて  
やさしく解説しています。検索しても  
いまいち分からなかった用語やお金の  
ことも載っていて、図解だから感覚的  
に学べます！全世代におすすめです。

○○歳のとき、あの偉人は何をしてい  
た？

教科書に出てくる人物に対して「昔す  
ぎてなんか親しみがわかない…」とい  
う経験をしたことのある人にオススメ  
です。有名なあの人たちが一気に身近  
に感じられますよ～。13歳から3279歳  
(!?)までの人なら（もちろんそう  
でない人も）全員楽しくなる本です。  
世界遺産検定の対策にも使えます 😊 👍

# 特集

## 「過去と現在、あなたとわたし」

ここで紹介した本は  
市内の図書館・公民館図書  
室等に所蔵が  
あります



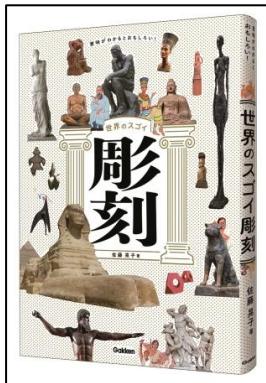
『意味がわかるとおもしろい！

世界のスゴイ彫刻』

佐藤晃子/著 伊野孝行/絵

Gakken

710/サ



『海は忘れない』

村上しいこ/著

小学館

F/ムラ



像や彫刻にあまり関心がなかった私ですが、これを読んで興味がわきました。この本はまず、とにかく大きい（タテ29cm）！なので、中に載っている彫刻の写真もとにかく大きい！写真が大きいと、こんなにも魅力が伝わってくるものなのか！と少し感動しました 😊 それぞれのページに盛り込まれたキャッチコピーや彫刻家同士の妄想対談もおもしろくて、鑑賞のポイントも教えてくれて楽しすぎる！美術館に行きたくなる本です。熱量がすごい！

高校2年生の波瑠は、部活の演目決めて部員とケンカし、その帰り、自転車で転んだ拍子にタイムスリップ＆その時代の少女「晴子」と入れ替わってしまいます。晴子の暮らす昭和33（1958）年は終戦から13年後。波瑠にとって教科書の中の出来事だった戦争が、現実として突き付けられ…。

忘れないこと、声を上げ続けることの大切さについて、東図書館でも人気の『○○室の日曜日』シリーズなどで知られる村上しい子さんが膨大な取材、資料をもとに描きます。

# 特集

## 「過去と現在、あなたとわたし」

ここで紹介した本は  
市内の図書館・公民館図書  
室等に所蔵が  
あります



『中三・ラプソディ』

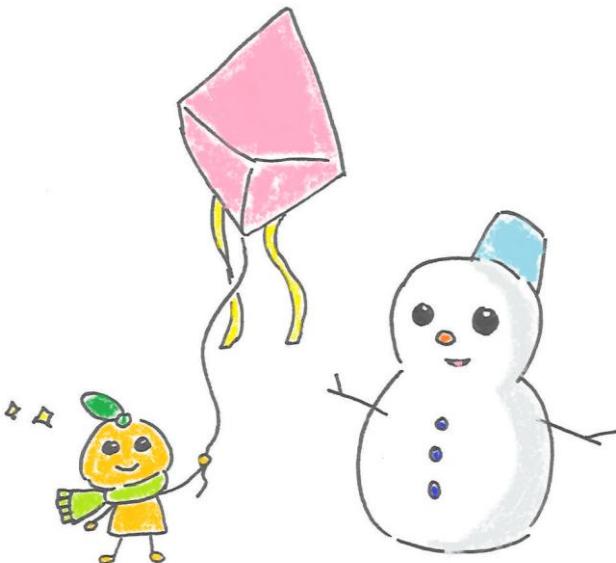
花里真希/著

講談社

F/Hナ



合唱コンクールを控え、同時に家庭のことでもちょっと憂うつな季里。そんなとき目の前に現れたのは、どこかで見た記憶のある、黄色いジャケットを着たおじさん。その正体はロックバンド「クイーン」のボーカル、フレディ・マーキュリー（！？） 合唱、そしてフレディのことをきっかけに、両親の秘密を知る季里は…。  
「自分の人生だから、自分のために生きるんでしょう」。セリフも多めで手に取りやすい青春小説です



# 担当より

工事中の東図書館（臨時窓口）からこんにちは 🌸 YA担当です。

ここで裏話をひとつ 🍲

今号は、特集のタイトル決めをいつもと違う方法でやってみました。事前に特集のタイトルを決め、それに合わせて本を選ぶ、という流れが定番なのですが、今回はまっさらな状態で「読んでみたかった本」「気になった本」を手に取ってみました。そして読み終えた後に「どの本もよかったです、タイトルどうしよう～」となり、それぞれの本の共通点を考えたところ、このようになりました。果たしてマッチしているでしょうか…(笑)。タイトルを付けるのって難しいですね。

最近は、友人や同僚の方など、周りの人と会話しまくっております。ごはん中や出かけた先など、とにかくその場で直接しゃべるのが最近の楽しみです。頭の中のことを共有する時間は楽しいですね～。

「会話」「しゃべる」といえば…図書館で本選びに迷ったりしたときは、私たちスタッフに声をかけてみてくださいね。調べもののお手伝いをすることも、私たちの仕事のひとつなのです 😊

それではまた次号で&今年も東図書館をよろしくお願いします 🦄 🌸



YAだよりVol.34 令和8（2026）年1月発行  
船橋市東図書館 YA担当 ☎047（463）3611

X



HP



Facebook

